

中学校 2 学年

学習指導要領 中学校理科 第2分野 (4) 気象とその変化
イ 天気の変化 (ア) 霧や雲の発生単元名等 学校図書2年「天気とその変化」
1章「大気をめぐる水」 3「雲はどのようにしてできるか」p192

teitenを活用した指導の内容

teitenが記録した画像やインターネットに掲載されている画像により、雲のできる高さや見え方などにより、雲にはいろいろな種類があること。雲の底面の高さがそろっていることに気づかせる。

また、上昇する空気が膨張することで、温度の低下が生じ、水蒸気が飽和して、水滴となり雲ができることを知識として理解させる。

雲はどのようにしてできるか



積雲

それぞれの雲は、ほぼ一定の高さから上に向かって発達している。

teitenを活用した場合に期待される主な効果

○教科書の事例に加えて、teiten2000が設置された身近な観測ポイントにおける画像を使用し、雲の発生について、具体的な条件に気づかせやすくなる。

その他

※サンプル教材では、福島県郡山市の画像を用いているが、全国19カ所の地点で教材を作成することが可能である。